



J P A 事務局ニュース <No.203> 2015 年 8 月 29 日

<発行> 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会(J P A)事務局
発行責任者 / 水谷幸司
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 610 号
TEL03-6280-7734 FAX03-6280-7735 jpa@ia2.itkeeper.ne.jp
J P A ホームページ <http://www.nanbyo.jp/>

全がん連、J P A 共同主催・緊急公開ラウンドテーブル詳細決定 9 月 17 日 (木) 午後 1 時から参議院議員会館 B 1 0 4 会議室で 厚労省担当官 (保険局医療課) 藤原康弘国立がん研究センター企画戦略局長、 ジャーナリスト堤未果さんら出席 2 ページを参照

8 月 21 日に緊急記者会見で、両団体が患者申出療養制度に関する意見書を公表したこともあって、26 日に開かれた中央社会保険医療協議会 (中医協) 総会では、花井十伍委員より「患者団体からの意見書も出ていることから、次回にもこの場で意見を聞いてはどうか」との発言があり、厚労省は (その方向で) 検討すると回答しました。また他の委員からも「患者申出による制度にしては、患者の目線からの資料がない。事務局が作成すべきではないか」との発言があり、これも次回に出されることになりました。この日の総会には、両団体の意見書は参考資料として配付されたのみでした。ヒアリングの実現は、これまでの流れでは行方方向ではありませんでしたが、自身も患者である川田龍平議員が緊急に国会で質問してくださったこともあり、何よりも全がん連、J P A の両団体が揃って意見書を提出し、記者会見を行ったことが中医協でのヒアリングの実現につながりました。

患者申出療養制度は、両団体の意見書でも指摘しているように新たな混合診療の枠組みの拡大であり、患者にとっては新薬や新たな治療法が開発されても、保険外併用療養費の枠内で留まっているかぎりには保険外の高額の医療費負担を強いられることとなります。

今求められることは、速やかな保険適用にむけたドラッグラグの短縮・解消、審査体制等の整備拡充です。最新で最適な治療が公的保険で安心して受けられるようにならなければ、医学の進歩もお金のない患者にとっては絵に描いた餅になりかねません。

9 月 17 日に行う緊急公開ラウンドテーブルでは、厚生労働省から制度創設に至った経過や制度の概要、中医協での審議状況を報告していただくとともに、国立がん研究センターの藤原先生からは医師の立場から、堤未果さんからはアメリカの医療事情と日本の医療との関係を取材するなかでこの制度をどう見ているのかをご発言いただきます。そして、J P A、全がん連の代表も交えて、緊迫した討議が行われます。この討論を通じて、患者の立場に立った医療制度のあり方を浮き彫りにできればと思います。

当日は、この緊迫した討論を、両団体の構成員を中心に、多くの患者、家族、関係者で傍聴していただきたいと思っております。国会最終盤で広い会場が現時点では確保できていません。希望される方のすべてに入らせていただくことはできないかもしれませんが、多くの方々が傍聴申し込みをしてくださいますよう、お願いいたします。申し込み方法など詳細は、別紙の案内をご覧ください。中医協の資料は下記「患者申出療養」の項。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000095567.html>

緊急公開ラウンドテーブル
このまま施行していいの？患者申出療養制度
～患者の立場に立った制度にむけて～

主催 一般社団法人全国がん患者団体連合会（全がん連）
一般社団法人日本難病・疾病団体協議会（J P A）

日時 9月17日（木）午後1時から3時まで
会場 参議院議員会館 B104会議室（予定）

* 広い会場が空いた場合には、変更することがあります。

出席者（順不同）

藤原康弘さん（医師、国立がん研究センター企画戦略局長・先進医療評価室長）
堤 未果さん（ジャーナリスト）

* 『沈みゆく大国アメリカ 逃げ切れ！日本の医療』著者

厚生労働省保険局医療課より「患者申出療養」担当官が出席予定
全がん連、J P Aより代表者（両団体から2名ずつ）

マスコミフルオープン（事前申込みをお願いします）

傍聴者 会場の定員（約50名）まで傍聴者を公募します。

応募多数の場合には抽選とさせていただきます。傍聴できる方には、締切日以降に通知を送ります。傍聴できない方にはとくに連絡をしませんのでご注意ください。申込み時に、連絡先を楷書で明記してください。間違いがあったり、F A Xなどで読みづらい場合には通知が届かない場合がありますのでご注意ください。当日は傍聴通知をご提示ください。

申込み方法 メール、F A X、郵送にて、氏名 住所 所属 通知の送付先（メールアドレス、F A X番号、郵送の場合は住所） 連絡のつく電話番号を明記のうえ、次のいずれかの方法で申し込んでください。電話では受け付けません。

メール...jpa@ia2.itkeeper.ne.jp

F A X ... 03-6280-7735

郵 送...〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイツ610 J P A宛

締切 **9月10日（木）17時（必着）**

問い合わせ先 日本難病・疾病団体協議会（J P A）事務局まで
電話 03-6280-7734 FAX 03-6280-7735
メール jpa@ia2.itkeeper.ne.jp